



**岡山県薬剤師会**  
Okayama Pharmaceutical Association

#### 導入団体

社団法人 岡山県薬剤師会

事務所：岡山県岡山市北区表町1-3-50

設立：1889年(明治22年)

会員数：約1,900名(2010年現在)

#### 事業概要

岡山県内の薬剤師の職能向上と薬学・薬業の発展を図り、地域の医療水準と福祉の向上、住民の健康保持に寄与する活動を行っている。社団法人日本薬剤師会に所属する都道府県薬剤師会である。

ホームページでは薬のミニ知識など一般情報も提供



<http://www.opa.or.jp/>

#### 導入ソリューション

- TANDBERG 6000 MXP Codec
- TANDBERG Border Controller
- TANDBERG Set-top 770 MXP

#### TANDBERGの選択理由

- ファイアウォール越え機能
- 高品位な映像と音声
- ランニングコストが不要

#### 導入効果

- 遠隔地会員の負担の軽減
- 研修会や会議への参加者が増加



岡山県薬剤師会 IT委員  
坪井 眞司氏



## 県内5つの会場をつなぎ研修会・講演会をビデオ中継

遠方の会員の移動にかかる負担を軽減  
会議場所を選ばないファイアウォール越え機能を利用した先進的な取り組み

社団法人岡山県薬剤師会は、日本で薬剤師の名称と役割が法規定された明治22年(1889年)に創設。現在、県内の薬剤師1,900名余りが所属し、医薬に関する情報収集や官公庁との折衝、地域住民に薬に関する正しい知識を伝える啓発活動などを行っている。なかでも、会員が最新の伝達事項や専門知識を共有する研修会や講演会の開催は、同業薬剤師会の重要な事業であり、全県から毎回多数の会員が出席。そこで活躍しているのがTANDBERGのビデオ会議システムだ。

### 全県から約500名が参加する研修会のほか、委員会会議でも活用

岡山県薬剤師会では2008年初めに、多地点接続機能およびHDカメラを搭載するTANDBERG 6000 MXP Codecと、ファイアウォール越え装置のBorder Controller(VCS Expresswayの前身)を導入。同時に県北部の美作、津山、真庭地区、西部の井原・笠岡地区の4つの支部が端末として、TANDBERG Set-top 770 MXPを購入した。

「当会では各委員会がさまざまな研修会を実施していますが、まずは定期的に開催されている『学術講演会』で、ビデオ会議システムによる支部会場への中継を行いました。長時間移動する必要がなく最寄りの会場で聴講できるのが助かる」と支部長からも好評をいただき、その後、他の委員会が主催の研修会でも使われるようになりました。最近のこうした催しでは毎回、岡山市内の本会場で400名前後、中継される支部4会場合わせて100名、全県で約500名が参加しています」と語るのはIT委員の坪井眞司氏。ビデオ

会議の導入を提案した一人だ。

一般にビデオ会議の活用は会議室同士をつなぐのが主流で、講演会などで使われることがあってもせいぜい数十人単位。これだけの大人数が参加し、しかもコンスタントに利用されている例はまだ珍しい。

「我々もかなりアグレッシブな使い方をしているという自覚はあります。会場に機器を運んでのセットアップもすべて自分たちで行っているため、まるで自家用ジェット機で世界一周するような話ではないかと。しかし、問題なく使えていますし、当会の活動にはもはや欠かせません」と坪井氏。

また、担当理事の古江ちづ子氏は、「今では各委員会の会議での利用も広まっています。当初はIT委員会のメンバーが接続から片付けまで立ち会っていましたが、自分たちですべて行える委員会が増え、非常に便利なシステムという認識は浸透しています」と話す。

### 「会員は平等」という会の理念にかなったシステム

薬剤師会がビデオ会議を導入したのは、地域による不公平感の解消が目的だった。「所属会員は岡山市とその周辺に在住・勤務している者が圧倒的に多いのと、大きな会場が確保しやすい都合から、研修会や会議のほとんどが岡山市内で開催されます。しかし、遠方の会員はそのつど出張費がかかり、移動を含めた拘束時間も長い。同じ会費を払っていながらかなりの不平等が生じていました。」(坪井氏)

研修会は日曜日の午前中に開催されているが、それに出席するのに会場まで自転車で10分の会員もいれば、毎朝5時過ぎに起きなければならない会員もいる。また、委員会の会議はそれぞれが日中の勤務を終えた平日の夜に開催されることが多く、遠方の委員にとっては、仕事で疲れているところに会議出席で夜遅くまで時間を取られ、体力的にもきつい。

「薬剤師の時給を1,500円として、例えば県北の津山市からだと移動に往復3時間、会議に2時間と、5時間は拘束されます。それに高速料金や駐車料金などが加わり、ざっと10,000円近い費用がかかっていることに

なります。ビデオ会議導入検討の際には、こうした試算資料を作って理事会を説得しました」と坪井氏。

これに対して会長の加藤圭一郎氏は、「会員には平等の権利があり、『開かれた会』『皆で支え合う会』という当会の理念にかなったシステムだということで、会費での購入が決まりました。また、個々が車を出す必要がなく環境にいいという点も評価できました」と語る。





委員会会議の様子



各支部が所有しているTANDBERG Set-top 770 MXPと、持ち運びのための特製ケース。モニターはプロジェクタースクリーンやテレビモニターを使用



TANDBERG 6000 MXP Codec



TANDBERG Border Controller

## どこからでもつなげられる機能を重視

システム選定の際、第一条件に挙げたのは、パブリック網を利用してどこからでもつなげられる機能を持っていることだった。薬剤師会の各支部は会員の薬局などが事務所を兼ねることが多く、研修会の際は参加者を収容できる会場を借りる必要があり、専用回線利用や固定IPのシステムでは話にならなかった。

「IT委員の一人が、大手製薬会社の勉強会か何かで固定IPでないビデオ会議システムがあることを知り、それを可能にしているのがTANDBERGのファイアウォール越え製品でした。当時、接続場所が変わっても煩雑な設定変更を伴わないのはTANDBERGだけだったと思います」

さらに坪井氏は、ハイビジョン相当の映像が送れることも大きなポイントだったと語る。「導入予算を確保した

2007年春に、東京のTANDBERG本社で実際に遠方をつないでのビデオ会議を体験しました。そこで、例えばISDNであってもこれくらいの画質が得られるというのを確認してもらい、これならどの地域とつないでも大丈夫だと分かりました」

その後、TANDBERG販売パートナーである三菱電機システムサービスが、研修会の本会場となる岡山市内の各施設と遠隔地をつないでのデモを数回にわたり実施。その映像を幹部にも確認してもらい導入となった。運用については、本部と各支部にいるIT委員会のメンバーが担当。当初はISDN回線の会場と接続する際にサポートを受けたが、ブロードバンド網が全域に伸びた今日ではすべての作業を自分たちで行えるようになり、ランニングコストのかからないシステムが実現している。

## 機器を持ち込み、設置と接続確認もすべて自分たちで

ビデオ会議の導入以来、遠隔地の会員の研修会参加は、時間の都合もつきやすくなり、2~3割は増えたという。「本会場のほうも以前は補助椅子を追加するほどぎゅうぎゅうの状態でしたが、緩和されました。このシステムは、キャパが十分な会議場所が確保できない場合に、会場を分散して行うという使い方もできそうです」(古江氏)

研修会は岡山県総合福祉会館などの大ホールで行われるが、ユニークなのは中継される各支部会場だ。病院の会議室や喫茶店、美作支部では畳敷きの旅館の一室を借りることも。

「インターネット接続できればどこでも会議ができる便利さの反面、事前に機器を持ち込んでセットし確認

する作業が毎回必要で、たまにアクシデントもあります。一度、ある支部で落雷によって前日行った回線の設定がとんでしまい、復活が講演会に間に合わなかったことがありました。しかし、こんなときのために録画をしていたので、後でDVDを配って対応しました。また、本会場の準備では据付けの音響設備との接続に戸惑うことが多く、最近、講師用マイクをワイヤレスに変えたことで多少楽になりました」(坪井氏)

IT委員といえども全員が本業は薬剤師。何か問題が生じるたびに知恵を出し合い、既存のビデオ会議の用途にとらわれない、自分たちに合ったシステム活用をされているのが印象的だ。

## 講演会や研修会などでのビデオ会議の潜在需要は高い

最後に今後の課題や展開についてお話を伺った。

「ビデオ会議システムは優れたコミュニケーションツールで、私どものような広域を対象にした勉強会での潜在需要も相当にあるのではないのでしょうか。TANDBERGさんにはこうした用途でのシステムのさらなる技術向上を期待しています。また、もっと臨場感が伝わる中継のノウハウも併せて提供していただけるとありがたい」と加藤会長。

IT委員会ではシステム導入後に一度、会員へのアンケートを実施している。研修会出席が楽になったという意見がある一方で、映像が単調で飽きてしまうといった不満もあった。

「映像中継というと、人によってはテレビなどで見る

プロフェッショナルなカメラワーク映像をイメージするので、そのレベルを期待されると我々も厳しいものがありますが、操作などソフト面についてはもっと磨く必要があると感じています」と坪井氏。

「また、会場設置のための労力削減も課題です。場所の確保から誰が機器を設置するかなど、まだ流れを決めていない部分があるので、そこはきっちりルールを作って改善を図っていききたいと思います」

岡山県薬剤師会では、ビデオ会議システムの運用の効率化を図りながら、今後もビデオ会議の活用の機会を増やし、薬剤師会の活動や会員のネットワークづくりに役立てていきたいという。

### ■ソリューション構成



※社団法人岡山県薬剤師会のビデオ会議システムは、三菱電機システムサービス株式会社が、きめ細かな導入支援、および保守サポートを提供しています。

シスコシステムズ合同会社  
〒106-0041  
東京都港区麻布台1-11-9  
CR神谷町ビル11F  
Email: info@tandbergjapan.com  
http://www.tandbergjapan.com

本カタログに記載されている会社名および製品名は、それを所有する各社の商標または登録商標です。